

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



価値観のしなやかさを育む

岐阜県観光文化スポーツ部観光文化スポーツ政策課 山田 知輝

県内土木事務所での勤務が3年経とうとしていた頃、人事課からクリア北京事務所派遣の打診を受けました。中国について知識はほとんど無く、中国語学習経験も無い。大きな迷いはありましたが、自身を成長させる好機と捉え、クリアへの派遣を決断しました。

東京本部での勤務

東京本部では、全国から集まった個性光る優秀な同僚や上司に囲まれ、充実した日々を送ることができました。岐阜県以外の組織に触れたことがなかった私にとって、他自治体職員との交流は新鮮で、岐阜県を客観的に見るという視点を持つことができました。また、多様な自治体の政策について学ぶこともでき、視野を広げる貴重な経験ができました。

北京事務所での勤務

北京事務所では観光展への出展、中国地方自治体幹部の日本招聘（しょうへい）、現地料理教室との連携、伝統工芸品の展示会、総務、経理など多岐にわたる業務に携わりました。中国では制度や仕事の進め方の違いにより想定外の課題が発生することが多く、臨機応変さや現場対応力が身につきました。また、事務所の組織階層が浅いこともあり、1人ひとりが意思をもって仕事に取り組む必要があり、仕事へ向かう姿勢についても考えさせられました。

中国での生活

中国で生活する中で強く感じたことは、デジタル技術の社会実装が驚くほど進んでいることです。スマートフォン1台で生活の大半が完結し、都市から農村までデジタル化が広く深く浸透しています。日本ではまだ見られない技術を数多く見たり体験したりするなど、日々刺激的でした。

また、自動運転タクシーやドローンを活用した低空経済など、先端技術が生活の中に溶け込んでいる様子からは、中国のデジタル社会の成熟度を一層強く感じました。

自分の枠が緩やかに広がる

初めて触れることに対しては、理解できないことや戸惑いがあります。言葉や価値観が通じなかったり、注文した料理が予想外の味だったり、生活習慣が違ったり。しかし、そんな「予想外」に触れるたび、自分がどのような枠の中で物事を見ているのか気づきます。東京生活を含めた3年間、異なる文化や生活リズムに身を置いた



旅行博で岐阜県の魅力を中国語でPR

ことで、自分の思考や価値観が固まっていたことに気づくと同時に、そういった思考などがほぐれ、心が少しずつ柔らかくなり、自分の枠が緩やかに広がりました。

帰任後の業務

帰任後は国際交流課で岐阜県と友好都市である中国江西省をはじめ、アジアや中南米との交流などを担当しています。さまざまな国と仕事を行う中で、クリアで培った臨機応変な対応力やプロトコルの知識などが大きく役立っていると感じています。今後もクリアでの経験を生かし、岐阜県の国際化に貢献していきたいと考えています。

プロフィール・ほか

- クリア在籍時の所属：
2022年4月～2023年4月 総務部企画調査課
2023年4月～2025年3月 北京事務所